

# コース (南方八幡宮～山村)

(全2.6km)

	ポイント間	累積距離
① 南方八幡宮(駐車場)	400m	400m
② 師井の生墓		
③ 長柵遺跡	200m	600m
④ やぐら山	700m	1,300m
⑤ 沢波川河畔 (東和町自治会館前)		
⑥ 四十段	800m	2,100m
⑦ 南方八幡宮	300m	2,400m
⑧ 南方八幡宮(駐車場)	200m	2,600m



## 【コースの特徴】

- ・ 南方八幡宮駐車場①を出発点とするコースです。
- ・ 太古から栄えた丘陵地帯②③を通り、やぐら山④の坂を下ります。
- ・ しばらく沢波川河畔⑤を通ります。
- ・ 交通量が多い農免道路までは北上せず、少し南側にある、小道を通って四十段⑥へ、ここから南方グラウンドを通り南方八幡宮境内⑦に入ります。
- ・ 静かなコースです。

## 【凡例】

- ① Aコース出発点・終点
- ②～⑦ コース内の名所・史跡・遺跡
- コース内の通過ポイント



## ②【師井の生墓(もろいのいけばか)】

- ・ 山村公会堂のそばに地藏様があり、その後ろに直径3m位の半球状の墳墓が並んでいます。
- ・ 注進案にはこの5個(実際は6個)ある墓の中に黄金を埋めた墓が1か所あると伝えられており、ある時泥棒がこの墓の下を掘って宝物を盗もうとすると忽ち命を失ったとあります。
- ・ このことから師井の霊は生きているのだとか。



## ③【長柵遺跡(ながますいせき)】

- ・ この遺跡は通称宇部台地と呼ばれる洪積段丘から、沢波川に向かって西にのびた丘陵地に位置します。
- ・ 主な遺物には後期旧石器時代(約2万～1万3千年前)に属するナイフ形石器、細石器、細石刃、搔器や縄文時代早期(約9千年前)の遺構、土器片(ナイフ形石器や石鏃(矢じり)など)があります。



## ④【やぐら山】

- ・ 注進案によると『中世(今から約700年前)に師井という人が山村に城を築いていた。昔は南から北へ堀があって、東は山村の台地につながっていた』と書かれています。
- ・ 土地の長老の話では、「城から東の方に抜け穴があった」ということです。やぐらとは見張りをする物見櫓か、矢を保存する矢の倉だったのかはわかりません(写真は★から臨む)。